

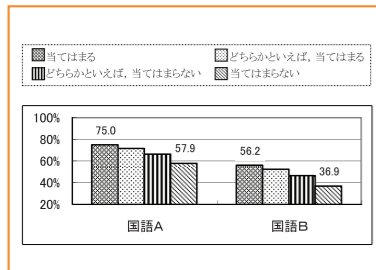
全国学力・学習状況調査

調査結果の活用

結果の集計・分析

- ◇国全体、各都道府県等における調査結果を公表
- ◇児童生徒の学習習慣や生活習慣、学校における指導方法や教育条件の整備状況等と学力の相関関係を分析、公表

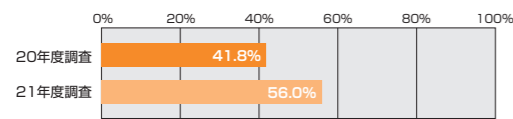
◎公表する調査結果の例



国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか。(小学校)

◎分析例

学力低位層の割合が減少した学校では、私語をしないなど学習規律の維持を徹底していると回答している割合が増加している。



学力低位層の割合が減少した学校のうち、質問「学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をするなど)の維持を徹底していますか」に「よく行った」と回答した学校の割合(中学校)

個人票の提供

- ◇設問ごとの正答や誤答の状況などが分かる個人票を提供

(提供する個人票のイメージ)



※答案は返却されません。

国において教育の改善に向けた全国的な取組を推進

- ◇調査結果の専門的な分析等を行い、教育指導や教育施策の改善に取り組む
例)学習指導要領の改訂、各種施策の成果の検証・改善 など
- ◇教育委員会や学校の意欲的な改善の取組に対して必要な支援等を行う
例)教員の配置等への支援、改善の取組に役立つ情報の提供、各種施策を活用した支援 など

教育委員会において域内の教育の改善に向けた取組を推進

- ◇調査結果を多面的に分析し、保護者や地域と連携しながら、教育指導や教育施策の改善に取り組む
- ◇学校の改善に向けた取組等に対して必要な支援等を行う
例)教員の配置等の工夫、教員研修の充実、教育指導等の改善のための資料の作成 など

学校において教育指導等の改善に向けた取組を推進

- ◇児童生徒の学力や学習状況を多面的に分析し、教育指導の成果や取り組むべき課題を把握する
- ◇学校の教育指導、児童生徒一人一人の学習状況等の改善に向けて計画的に取り組む
例)明らかになった課題を踏まえた、全学年・全教科における授業改善の取組/児童生徒の学習状況等の改善を図るため、個に応じた指導等を実施/教育指導の改善のための校内研修の実施 など
- ◇保護者や地域と連携しながら、学習習慣や生活習慣等の改善に取り組む
例)家庭における学習習慣や生活習慣の確立に向けて保護者に働きかけ/地域のボランティア等の協力による、放課後等における補充学習の実施 など

教育における継続的な検証改善サイクル(PDCAサイクル)を確立

本調査は、文部科学省が、学校の設置管理者等(教育委員会、学校法人等)の協力を得て実施するものです。

平成22年度調査実施日: 4月20日(火)

※調査の目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる

※調査対象

小学校第6学年、中学校第3学年

※調査内容

- ①教科に関する調査(国語、算数・数学)
 - ・主として「知識」に関する問題
 - ・主として「活用」に関する問題
- ②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
 - ・児童生徒に対する調査
 - ・学校に対する調査

※調査方式

これまでの悉皆調査の結果、全国及び各地域等の信頼性の高いデータが蓄積され、教育に関する検証改善サイクルの構築も着実に進んでいることから、今回の調査においては、これまでの調査と一定の継続性を保ちながら、調査方式を悉皆調査から抽出調査及び希望利用方式に切り替えています。

抽出調査	希望利用方式	【国全体】 【国・公・私立学校別】 【都道府県(公立)別】
<ul style="list-style-type: none"> ・学校単位でのランダム抽出 ・全国の抽出率約30% ・都道府県毎に平均正答率が95%の確率で誤差1%以内となるよう抽出率を設定 ・都道府県毎に抽出率は異なる 	<ul style="list-style-type: none"> ・抽出調査対象外の学校は、学校の設置管理者の希望により、調査を利用することができる ・文部科学省において、国費により、問題の作成、印刷及び学校への配送を行う ・採点等は、学校の設置管理者の責任と費用負担で行う 	の学力等の状況を把握
	<ul style="list-style-type: none"> ・抽出調査対象校にならなかった学校についても、学校の設置管理者の希望により、児童生徒の学力等の状況を把握することができる ・市町村や学校におけるより詳細な学力等の状況を把握可能 	

※ 調査内容

① 教科に関する調査（国語、算数・数学）

主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 ・実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など	・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力 ・様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力 など

② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 国語の勉強は好きですか、授業の内容はどの程度分かりますか、一日にテレビを見る時間、読書時間、勉強時間の状況など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 学力向上や学習の定着に向けた取組、習熟度別少人数指導、教育の情報化、教員研修、家庭・地域との連携の状況など

※ 出題の内容例

主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
〔国語A〕 ・漢字の読み書き、言葉の意味 ・目的や場面に応じた言葉の使い方 ・情報を整理してまとめること ・文章の内容などに関する情報の取り出し など	〔国語B〕 ・伝えるべき内容を整理して、文章に表現すること ・筆者の主張を評価したり、表現を工夫しながら自分の考えを書いたりすること ・文章やグラフ・図表等を読んで、意見をまとめること など
〔算数・数学A〕 ・＋、－、×、÷、() の演算順序を意識して正しく計算すること ・図形の性質を理解し、角度や面積などを求めること ・グラフから変化の様子を読み取ること ・確率の意味を理解し、求めること など	〔算数・数学B〕 ・図やグラフから必要な情報を分類、整理、比較するなどして、問題の解決に役立てること ・問題の中から規則性を見つけて、考え、表現すること ・実生活などの様々な場面における数量やデータを比較、整理し、自分の考えを分かりやすく説明すること など

※ 時間割 ※問題冊子等の配付、解答用紙の回収等については、各時限中、解答時間の前後で行う。

◎ 小学校

1時限目 (45分)	2時限目 (45分)	3時限目 (45分)	
国語A (20分) 算数A (20分)	国語B (40分)	算数B (40分)	児童質問紙 (20分)

※児童質問紙は、4時限目以降に、各学校の状況に応じて実施。

◎ 中学校

1時限目 (50分)	2時限目 (50分)	3時限目 (50分)	4時限目 (50分)	
国語A (45分)	国語B (45分)	数学A (45分)	数学B (45分)	生徒質問紙 (20分)

※生徒質問紙は、5時限目以降に、各学校の状況に応じて実施。

※ 問題例：平成21年度調査より

中学校・国語B冊子 情報を読む（図書館の案内図）

1 図書館委員の山田さんは、先生から紹介された本を借りるために近くの子ども図書館に出かけました。次の子ども図書館案内図を見ながら、あとの問いに答えなさい。

2 映像を楽しみたいとき
②メディアの部屋
映画などの映像資料を見ることが出来ます。

3 館内について知りたいとき
①案内コーナー
当館の使い方が分からないときは相談してください。本を借りることができるパソコンもあります。

4 新聞や雑誌を読みたいとき
③資料の部屋
過去一年間の新聞や雑誌を読むことが出来ます。

5 ゆっくり本を読みたいとき
④本の部屋
館内外で出版されている本が数多くあります。貸し出しも出来ます。

3 中学校に属した山田さんは、子ども図書館案内図の工夫を学校図書館の案内図にも生かそうと考えました。

ア 郷土資料コーナーの「A」には、どのような見出しを書くのが適切ですか。「B」には、どのような見出しを書くのが適切ですか。次の条件1と条件2に基づいて書きなさい。
 条件1 次の「受付カウンター」の役割をもとに書きなさい。
 (受付カウンターの役割)
 ・本を借りるための手続きができる。
 ・本を返すための手続きができる。
 ・パソコンで学校図書館の本を検索することができる。
 条件2 「貸出し」「返却」「検索」に関する情報をすべて使ったこと。

●出題の趣旨
案内図を見て、資料に表れている工夫を自分の表現に役立てることができるかどうかをみる。

小学校・算数B冊子 事象の観察と論理的な考察（階段）

1 ゆうじさんの学校では、子どもまつりの準備をするようになりました。

(1) ゆうじさんの学校には、次の図のような階段があります。下の場所に、子どもまつりのポスターをはりたい場所。

上の図のかべの高さを知りたいので、階段を使って調べます。
かべの高さを求めるためには、下のアからエまでのうち、どれが必要ですか。アからエまでの中から必要なものをすべて選んで、その記号を書きましょう。また、かべの高さを求める式を書きましょう。ただし、計算の答えを書く必要はありません。

ア ①の長さ 200 cm
 イ ②の長さ 30 cm
 ウ ③の長さ 14 cm
 エ 階段の段数 15 段

(2) 下の図の点オから点クまでのところに、かざりをつけようと思います。点オから点クまでの部分の長さを知りたいのですが、高い場所なので、長さを直接はかることができません。

上の四角形オカキクは、平行四辺形とみることができます。そこで、ゆうじさんは、点オから点クまでの長さを求めるためには、点カから点キまでの長さをはかればよいと考えました。このように考えたわけとして正しいものを、下の1から5までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

1 平行四辺形は、2つの対角線の長さが等しいから。
 2 平行四辺形は、4つの辺の長さが等しいから。
 3 平行四辺形は、向かい合っている辺の長さが等しいから。
 4 平行四辺形は、向かい合っている角の大きさが等しいから。
 5 平行四辺形は、向かい合っている辺が平行だから。

●出題の趣旨
日常の事象を数理的にとらえ、次のことができるかどうかをみる。
 ・事象を観察して図形を見だし、示された部分の長さを求めるために必要な情報を選択すること。
 ・問題解決の根拠となる図形の性質を判断すること。

※掲載している問題例は平成21年度調査より抜粋。平成21年度全国学力・学習状況調査（平成21年4月21日実施）の全問題については、<http://www.nier.go.jp/09chousa/09mondai.htm> を参照。